

街を行く

第33回 **ボストン** Boston

歴史と年金基金

今回は米国マサチューセッツ州・ボストンの街を訪ねました。久しぶりの「アメリカ版・街を行く」ですから、ちょっぴり興奮気味で記事を書いています。

言わずと知れたアメリカ建国のゆかりを持つ都市。街自体に歴史が溢れています。ここを発端に英国より独立の波が生まれ、まさにニューイングランドと呼ばれる所以ですね。でもその道のりは簡単ではなく、ボストン虐殺事件やボストン茶会事件など悲しい出来事を経て得られた独立だったのです。これら歴史は「フリーダムトレイル」というウォーキングコースを辿るとよく理解できます。

小生はこの街に来ると、なぜかいつも横浜と神戸を思い浮かべます。オシャレな港町で文化的要素も揃っているからでしょうね。ショッピングモールになったかつての倉庫で絶品のシーフードをつまみながらそぞろ歩いていると、どこも町おこしは同じなんだなぁと再認識しました。

ボストンはアメリカの中でも誇り高き街で、そのひとつであるケネディ元大統領がこの街で生まれ育ったことも忘れてはいけません。その生家は国で管理され、いまだに多くの国民が訪れています。このファミリーをアメリカ王朝のように思っている人も少なからずいるぐらいですから。ケネディ大好きおじさんとしても嬉しい限りです。

この街のもう一つの顔は、アメリカの、いや世界に誇る学園都市であることです。ハーバードやMIT(マサチューセッツ工科大学)、ボストンカレッジ、ボストン、エマーソンなどに代表される多くの優



ボストン市内風景と、レッドソックスのホームグラウンド「フェンウェイ・パーク」

秀な大学がそろっています。ちなみに小生の娘もここで勉強しています。これら大学の中には有名な投資家としての顔を持っているところもあります。ご存じないかもしれませんが、アメリカでは寄付は課税対象外になり、成功した卒業生たちから毎年かなりの寄付金が集まるのです。その一部は奨学金として学生に還元されますが、他の一部は投資資金として運用されています。小生も以前はこれらの資金を預かり日本での不動産投資運用を行っていました。一般に言われる大学の「ベンションファンド」ですね。今回もこれら資金を運用している担当者と会合の機会を設け、これからの展望を聞いてきました。本来はこれが旅の目的なのですが…。この件については、また別の機会に詳しく述べさせていただきます。

最後に、忘れては行けないのがフェンウ

イ・パーク、「レッドソックス」のホームグラウンドです。野球に熱狂的なボストンっ子に交じって対レンジャーズ戦を観戦してきましたよ。ダルビッシュを期待していたのですが、それは叶わず。でも上原と田沢が投げてくれましたので大満足でした。

南 一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年株式会社ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。

BLOG「南一弘の負けない不動産投資」
http://blog.livedoor.jp/minami_kazuhiro